



リハビリ便り

7月は元々東京オリンピックの開催が予定されていた月です。コロナも少し落ち着き、プロ野球の試合なども再開され、徐々に楽しみが増えています。今回は、私たちにとって楽しみである「話す、食べる」事に対してのリハビリについてお話しします。

ST訪問リハビリの必要性

脳梗塞や脳出血といった疾患を発症すると、口や喉の機能が低下し、話しにくさや飲み込みにくさといった問題を引き起こす事があります。病院を退院した後も、それらの症状に対して訓練や指導を必要とする方がたくさんいらっしゃいます。当院では言語聴覚士（ST）が自宅へ訪問し、介助指導や機能訓練を実施しています。

ST訪問リハビリとは

STによる訪問リハビリの対象と訓練内容についてお話しします。

①対象者

食事でむせ込むことがある。言葉が話しにくいなどの症状がある方。

②内容

食事場面の評価を行い、適切な食事形態や注意点の指導などを行い、誤嚥のリスクを軽減します。言葉や発声についての問題に対して評価、機能訓練や代償手段の検討を行います。



退院後の生活

実際の訪問リハの様子

脳卒中などの病気だけでなく、加齢による筋力低下でも飲み込みの問題は起こります。

年々高齢化社会が進む中で、飲み込みや言葉の問題を抱える人は増加傾向にあります。飲み込みの問題がある方の中には胃瘻など管で胃に栄養を送り込む方もいます。もし飲み込みに問題が認められた場合でも、できる限り安全に口から食べる楽しみを続けていける様な関わりが重要です。

訪問リハビリでは病院を退院した後、適切な評価を行う事によって自宅での食事内容や環境などを整える事ができ、肺炎などによる再入院を防ぐことが出来ます。自宅での生活をできる限り続けるための支援を行っています。きたいと考えています。

県内でSTの訪問リハビリを行っている事業所は少ないですが、本来STの介入が必要な方は多くいらっしゃいます。気になることがありましたらいつでもお気軽にご相談下さい。

小児リハビリのお知らせ

初回到小児科医師の診察が必要です。
初診：右記問い合わせ番号にて、要予約
【初診対応曜日】

	月	火	水	木	金	土
午前	応相談	—	応相談	—	—	—
午後	—	○	○	○	—	応相談

【診療内容】
作業療法・言語聴覚療法

【対象となる方】
3歳～小学生程度

【時間】
月・火・水・木・土（金・日曜は応相談）
（午前）9：00～12：00
（午後）13：40～16：40

【場所】
天心堂へつぎ病院 リハビリテーション科

【問い合わせ先】
リハビリテーション科
担当：水津・本室・阿南 電話（097）529-5611

